



平成27年 9月28日 NO・68

〒311-1114 水戸市塩崎町1016
 TEL029-269-2116 FAX029-269-3160
 Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp
 【ホームページで、カラー版が見られます】
 ≪67号は、校内配布のみとなります≫

『本気』であること

3年 岩井美季

私は、中学校最後の体育祭で思い出がたくさんできました。その中でも印象に残ったのは2つあります。

1つ目は、仮装です。夏休みに集まって、協力して作った仮装はすごくかっこよく仕上がっていました。最初は苦戦していた二人三脚も練習を重ねるごとに皆、速く走れるようになりました。本番での総合順位は3位でしたが、私の中では1組の仮装が1位だったと思います。

2つ目は、全員リレーです。バトンをつないで走るリレーでは、団結力が高まりました。作戦を考えたりして少しでも良い順位がとれるようにがんばった結果1位にはなれなかったけど、一人一人が本気で走っていたので、とても良かったと思います。

今年の体育祭は、中学校最後の楽しい体育祭になりました。



3年(組)2番(名画)岩井美季

担任コメント

心を一つにして、全力で取り組んだからこそその充実感ですね。

私は、中学校最後の体育祭で思い出が
 たくさんできました。その中でも印象に残ったのは
 2つあります。
 1つ目は、仮装です。夏休みに集まって、協力して
 作った仮装は、すごくかっこよく仕上がっていました。
 最初は苦戦していた二人三脚も練習を重ねるごとに
 皆、速く走れるようになりました。本番での総合順位は
 3位でしたが、私の中では1組の仮装が1位だと思いま
 す。
 2つ目は、全員リレーです。バトンをつないで走るリ
 レーでは、団結力が高まりました。作戦を考えたりして、か
 せいで良い順位がとれるようにがんばった結果1位には
 なれなかったけど、一人一人が本気で走っていたので、
 とても良かったと思います。
 今年の体育祭は、中学校最後の楽しい体育祭に
 なりました。心を一つにして、全力で取り組んだ
 からこそその充実感ですね。



上は三年生の岩井さんが体育祭を振り返って書いた作文です。
 担任の大関先生は、作文の次のところに下線を引いています。

『練習を重ねることに皆、速く』
 『私の中では一組の仮装が1位だった』
 『一人一人が本気で走っていた』

本当によいところに下線が引かれています。まさに岩井さんの心を読み取るポイントの部分です。

『練習を重ねることに速くなる』
 『おそろしく一組も、他のクラスと同じように、よい意味で「バカになる」(本気になる)』
 『「真面目であること」「努力すること」を、カッコ悪いと感じる日本人もいます。しかし、岩井さんをはじめ、本校の生徒たちは、「バカに徹して努力すること」が、できていました。』
 『一人一人が本気』

岩井さんの言う、この言葉こそ「常中魂」の神髄です。

「本気」であること。「本気で走ること」「本気で努力すること」「本気で応援し」「本気で笑い」「本気で泣くこと」

それができたからこそ、勝ち負けを越えて、「とても良かった」という感想になったのだと思います。

「本気」「全力」そして「充実感」
 岩井さん、よい振り返りをありがとうございました。学ぶことができました。

あさつ運動はじまる

本日より10月28日まで朝の挨拶運動が始まりました。

